

3月給食だよ!

令和4年度
清瀬市立
清瀬第五中学校

非常時の備えを考える



2011年3月11日、午後2時46分に東日本大震災が発生しました。震災直後は、停電や燃料不足などで、食べ物が運ぶことができなくなり、お店に行っても棚が空になっていることもありました。時間がたつと、忘れてしまいがちです。毎日「あたりまえ」のようにあるものが、じつは、「ありがたい」こと、いろいろな人のおかげであることを忘れないください。3月9日は、給食室でおにぎりを握る炊き出し風給食を予定しています。



災害はいつ・どこで起きるかわかりません。非常時に備え、各自で準備しておくことが大切です。備蓄している食品がある場合は1年に1度は賞味期限を確認し、必要があれば入れ替えるようにしましょう。日頃から飲料水をはじめ、缶詰やレトルト食品、日持ちする米、乾麺などを多めにストックしておく、非常時に役立ちます。

飲料水は1人分1日3L、ストレスをやわらげる効果のあるおやつもあると更に安心!



1年間、ありがとうございました

コロナ禍ということで「前向き」「黙食」での給食時間でしたが、ルールを守り、もりもり給食を食べていましたね。きっとこの1年で心も体も大きく成長したことでしょう。保護者の皆さま、今年度も給食運営へのご理解とご協力をありがとうございました。引き続き、安心・安全な給食を提供できるよう、努めてまいりますので、よろしくお願い致します。



3年生の皆さん、いよいよ卒業ですね。

中学校卒業後はお昼ご飯を自分で用意しなければならない人も多いと思います。食べることを大切にすることは、自分自身を大切にすることにつながります。給食から学んだことを生かし、健康で充実した毎日を送ってほしいと願っています。



日ごろの食生活を振り返ろう!



食事の前に、手をきれいに洗っていますか?



朝ごはんを毎日欠かさず食べていますか?



よくかんで、味わって食べていますか?



おやつは決まった時間に、量を決めて食べていますか?



苦手な食べ物にも挑戦していますか?



毎日の食事を楽しんでいますか?



給食で清瀬産はちみつを使います!



清瀬市では、平成26年3月から地域の活性化、花のあるまちづくり事業の充実、健康食品はちみつの活用を目的に、市役所の屋上でみつばちを育てています。みつばちの受粉活動は、農作物の実りを豊かにし、市内農業の活性化にもつながっています。また、採れたはちみつをまちの特産物として販売するなど清瀬市の魅力を伝えています。

3月8日は「みつばちの日」清瀬で採れたはちみつ「Kiyohachi」を使ったメニューが登場します。お楽しみに!



←キヨハチマーク

